

～ 特別養護老人ホーム梅の香（南相馬市）が御下賜金を拝受 ～

天皇陛下におかれましては、天皇誕生日に際し、社会福祉事業御奨励のため、事業運営が優良な民間社会福祉施設・団体に対し、金員を御下賜されました。

令和3年度は、本県においては「特別養護老人ホーム梅の香」が拝受し、令和4年2月25日、県庁で内堀雅雄知事から鹿山奈美施設長に伝達されました。



(知事との記念撮影)

社会福祉法人南相馬福祉会が運営する「特別養護老人ホーム梅の香」は、平成16年6月の開所以来、地域の高齢福祉に貢献されてきました。

施設所在地である南相馬市小高区は、東京電力福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域にあったため事業再開ができずにいましたが、平成28年7月の避難指示解除により「故郷に帰りたい」「地元で生活したい」という高齢者の声に応えようと施設再開を目指し、介護人材の確保などに取り組んだ結果、平成30年4月に定員20名で施設を再開しました。

再開後は、小高区唯一の特別養護老人ホームとして被災地における要援護者の福祉の向上に貢献し、また、多くの応援職員の協力を受け、定員を震災前の規模まで拡大するなど、震災からの復興に大きく寄与するのみならず、他の施設の模範となっています。